

伊予銀行環境基金「エバーグリーン」助成事業

「瀬戸内親子エコ・テイクキャンプ」

実施報告書

実施日：平成22年7月19日（月／海の日）

場 所：高浜公民館（松山市梅津寺町 1335-4）

対 象：小学4年～中学3年までの児童・生徒と

その保護者

「海の日」に、海の環境と命のつながりを体験し考えるテイクキャンプを実施し、私たちの暮らしとつながる海について親子でいっしょに考えました。



主催：衣サイクル研究会

<参加者>

大人：5名 子ども：15名

(小学1年：1名 小学4年：4名 小学5年：8名 小学6年：1名 中学生：1名)

<ボランティア>

高校生：8名 一般：2名

<スタッフ>

衣サイクル研究会：8名 講師：2名 養護：1名

	名前	学年・年齢
1	梶原 智司	第一高等学院松山校3年
2	由佐 達志	第一高等学院松山校3年
3	松本 彩果	第一高等学院松山校2年
4	山内 瞳	
5	三好 貴子	
6	隼田 悠樹	伊予農業高等学校
7	掛水 弘樹	伊予農業高等学校
8	森岡 太一	伊予農業高等学校
9	冨永 光樹	伊予農業高等学校
10	小倉 純也	伊予農業高等学校

	名前	所属
1	小池 あゆみ	衣サイクル研究会会長
2	加藤 美樹	衣サイクル研究会副会長
3	中田 千種	衣サイクル研究会副会長
4	伊藤 好信	衣サイクル研究会監事
5	近藤 美由紀	衣サイクル研究会事務局
6	永田 清美	新居浜衣料リサイクル研究会
7	中田 龍	新田高等学校
8	小池 直輝	新田高等学校

<スケジュール>

8：30～ 受付

9：00～ オリエンテーション

9：20～ 講義「海のごみと命のつながり」

10：00～ ビーチクリーンアップ

12：00～ エコクッキング「松山ずし」

13：30～ 磯の観察

14：30～ エコ工作「海藻おしば」「シーガラス工作」

16：00～ エンディング

●オリエンテーション

受付から開始時間までを利用して、ビデオ観賞

「ゴミ箱になった海 ～私たちのゴミが海を汚す～」を実施しました。

プログラムの開始に先立ち、趣旨説明、注意事項、タイムスケジュール説明を行いました。

●講義「海のごみと命のつながり」 講師：小池あゆみ（衣サイクル研究会代表）

海岸の漂着ごみは、時代とともに変化し、自然素材のものから、自然に還らないものになっています。特にプラスチックは、軽くて丈夫で長持ちするという、その特性により、「漂着ごみ」となった場合、海の生き物に大きな影響を及ぼします。

- ① 海洋生物が絡まり、窒息する。
- ② 海洋生物がえさと間違えて誤食する。
- ③ プラスチック表面に吸着された化学物質が誤食されることで、食物連鎖に合わせて蓄積される「生物濃縮」を引き起こす。

瀬戸内海は「閉鎖性海域」のため、私たちの生活の中で「ポイ捨て」されたごみが風雨や川により海にたどり着き蓄積されています。

海のいきものは、私たちの生活にとって欠かせないものです。

例えば、海藻などは、私たちが流す生活排水を浄化する働きのほか、海のいきもののすみかやえさとなっています。

地上の植物が光合成をすることで、地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素を吸っていることは、よく知られていますが。実は、海のプランクトンや海藻も光合成をしています。

植物プランクトンのケイソウ類だけでも、全地球の光合成をするいきものの25%を占めています。

目に見えないほどの小さなプランクトンは、海の世界の出発点であり、プランクトンが死滅したとしたら、人も含めて、いきものは生きてはいけません。

しかし、このプランクトンは、バケツいっぱいプランクトンがタバコの吸い殻ひとつで簡単に死ぬほど弱いのです。

海とそこに住むいきものの命を救うことは、人も含めたすべてのいきものと地球を救うことになります。

「ポイ捨て」しないだけでも守れる命があることを知り、「捨てない人」になってください。



「アクティブレンジャーについて」 講師：永田清美（環境省アクティブレンジャー）



アクティブレンジャーとは、自然保護官の補佐役として、国立公園等のパトロール、調査、利用者指導、自然解説などの業務を担う環境省の職員です。今回スタッフとして関わった永田さんの普段の仕事である「アクティブレンジャー」について、どのような仕事で、今、どんなことをしているのかを聞きました。

●ビーチクリーンアップ（海岸の清掃と漂着物の調査）

「ビーチクリーンアップ」とは、単に海岸のごみを拾ってきれいにする運動ではありません。ゴミがどこからやってくるのかを考え、調査し、「拾ってきれいに」から「拾わなくてもいい(きれいな)」海岸を目指します。

つまり、問題を根本から解決していくための活動なのです。

データカードは、4つの分類に大きく分かれています。「破片／かけら類」「陸起源(日常生活・産業・医療／衛生など)」「海・河川・湖沼起源(水産・釣り・海上投棄など)」「地域で問題とされているもの」です。それがさらに細かく分けられており、全部で63品目となっています。

瀬戸内海で特徴のある漂着物「かき養殖用パイプ」は「海起源のモノ」となります。

分別したゴミについては、松山市が回収しますが、「可燃ゴミ」「不燃ゴミ」の2種類にしか分けません。

皆さんは「資源ゴミ」もあるのでは、と思っているかもしれませんが、実は、海岸で回収したゴミには、化学物質を含めたいろいろな不純物が付着しており、リサイクルできません。ポイ捨てせずに分別していれば、リサイクルできるのに「もったいない」ことです。

海のごみは、「焼却する」か「埋め立てる」しかないわけです。



今回の調査のデータ

世界ゴミ調査キャンペーン・データカード ★INTERNATIONAL COASTAL CLEANUP (ICC) DATA CARD

※ゴミはすべて拾いますが、調査品目は下記のものだけです。拾った数を数えて合計数を に数字で書き込んでください。

A面

記入例： タバコの吸殻・フィルター 正正... 合計数→

156

▼破片/かけら類

硬質プラスチック破片	69	プラスチックシートや袋の破片	79
発泡スチロール破片：大 (1cm ³ 以上)	105	ガラス破片	63
発泡スチロール破片：小 (1cm ³ 未満)	30	紙片	17

▼陸 (日常生活・産業・医療/衛生など)

タバコの吸殻・フィルター	81	漂白剤・洗剤類ボトル	1
タバコのパッケージ・包装	5	スプレー缶・カセットボンベ	0
葉巻などの吸い口	0	生活雑貨	1
使い捨てライター	3	おもちゃ	2
飲料用プラボトル	8	風船	0
飲料ガラスびん	2	花火	114
飲料缶	5	衣服類	0
ふた・キャップ	11	くつ・サンダル	0
ブルタブ	2	家電製品・家具	0
6バックホルダー	0	電池 (バッテリーも含む)	0
食器 (わりばし含む)	2	自転車・バイク	0
ストロー・マドラー	1	タイヤ	0
食品の包装・容器	32	自動車・部品 (タイヤ・バッテリー以外)	0
袋類 (農業用以外)	11	潤滑油缶・ボトル	0
農薬・肥料袋	0	梱包用木箱	0
シート類 (レジャー用など)	0	物流用パレット	0
苗木ポット	0	荷造り用ストラップバンド	0
注射器	0	ドラム缶	0
注射器以外の医療ゴミ	1	くぎ・針金	7
コンドーム	0	建築資材 (くぎ・針金以外)	9
タンポンのアプリケーター	0	薬きょう (猟銃の弾丸の殻)	0
紙おむつ	0	レジンパレット	0

▼海・河川・湖沼 (水産・釣り・海上投棄など)

釣り糸	2	魚箱 (トロ箱)	0
ロープ・ひも	5	釣りえさ袋・容器	1
漁網	1	電球・蛍光灯 (家庭用も含む)	0
発泡スチロール製フロート	0	ルアー・蛍光棒 (ケミ蛍)	0
ウキ・フロート・ブイ	1	カキ養殖用パイプ	0
かご漁具	0	廃油ボール	273

▼上記以外で地域で問題とされているもの

ろうそく	2	ナイロン袋	1
タイル	4	輪ゴム	1
レンガ	4	陶器	1
BB弾	3	乾燥剤	1
コンクリート	2		

●エコクッキング 講師：香川きみえ



メニュー：松山鮭・そうめん

松山には昔から祝い事や訪問客をもてなす際に『ちらし寿司』をつける慣わしがあり、「瀬戸の小魚」をちりばめた「松山鮭」は、その中でも最高のもてなしであったといえます。

NHK スペシャルドラマとなった、司馬遼太郎氏の『坂の上の雲』の中にも、「松山鮭」を食べるシーンも出てきました。

正岡子規の故郷の味は、母のつくる「松山鮭」であったと言われています。

今日は、トッピングとして三津の海で取れた新鮮な魚を使います。

また、今日のおやつとして「ところてん」を用意しています。

市販のものではなく、実際に海で採取したテングサを干したものを煮て、固めたものです。売っているところてんは透明ですが、手作りのものは、漂白していない自然のままの色なので透明ではありません。



松山鮭、そうめん

●磯の観察 講師：柴田健介

<海浜植物の観察>

- ・オカヒジキ・・・アカザ科の一年草で葉が海のひじきに似ていることからこの名前がつけました。軽くゆでて食べることができます。
- ・ツルナ・・・・葉っぱの付け根に小さな黄色い花が咲いています。花には花弁がなく形に特徴があります。葉っぱが分厚いのは水分を逃がさないためです。



オカヒジキ



ツルナ

<磯の観察>

今日は潮の引きが悪いので、観察できるいきものは限られています。

- ・イワガニ・・・背中は少し丸く、雄には爪の間に毛がある。形が岩に似ています。
- ・イソガニ・・・斑模様が特徴。潮間帯の岸壁の割れ目や岩の間に生息します。
※ヒライソガニはみられませんでした。イワガニによく似ていますが、ヒライソガニは潮がもっと引いたときによく見られます。
- ・クサフグ・・・緑っぽい色をしています。大きさは小さくても毒は強いです。
- ・ボーリングシェル・・・海岸に穴のあいた石をみかけたら、それはボーリングシェルの仲間で石に穴をあけて住み家とする貝です。

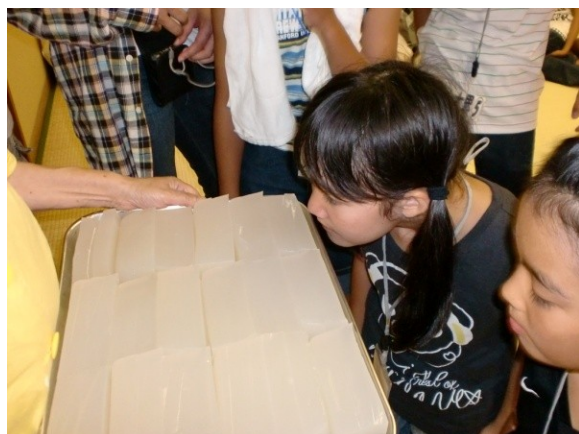
穴の明け方には化学物質で溶かしていく「化学的穿孔」と、貝の殻を使い削っていく「ふっ質的穿孔」があります。イシマテガイは化学的穿孔です。



●おやつタイム (ところてん)



おやつで食べた「ところてん」は、テングサ。正式にはマクサと言われる赤藻類の仲間です。



●**エコ工作**（海藻おしば・シーガラスオブジェ）

海岸で拾ってきた海藻やシーガラスを使って、思い出作りの工作をしました。



講師の説明を真剣に聞く



バットに海藻を浮かせてのおしばづくり



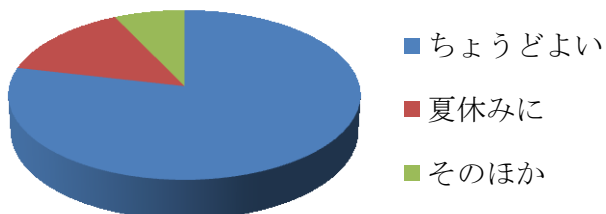
ボランティアさんも作品作りに挑戦



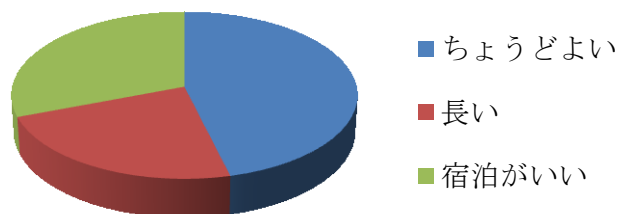
シーガラスをホットボンドでくっつけての
オブジェづくり

●アンケート (一般・ボランティア共通) 28名分回収

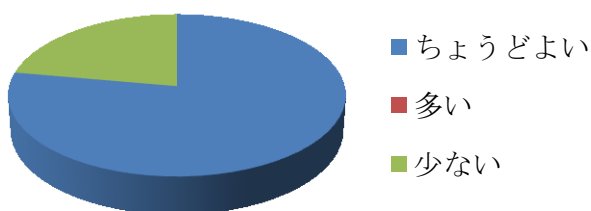
日程



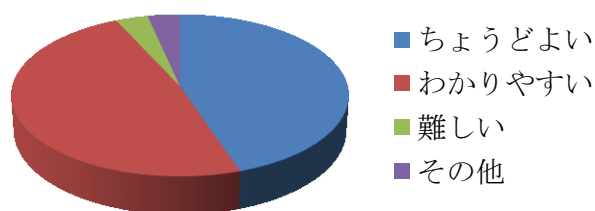
時間



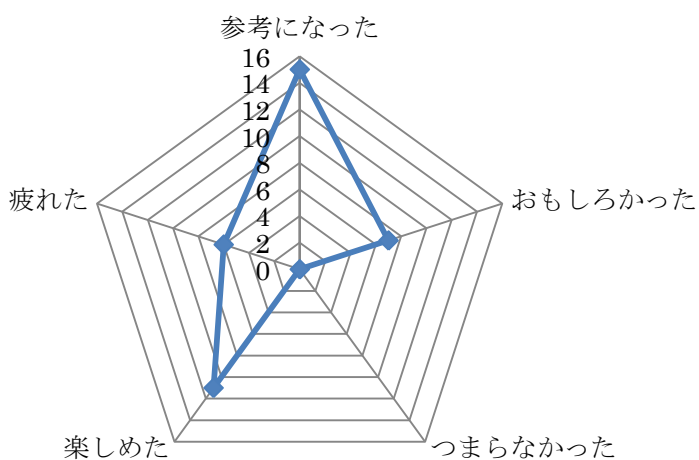
内容 (食事)



内容 (講義)



全体



(日程)

ちょうどよい：22 夏休みに：4
 その他：春か秋、連休初日

(時間)

ちょうどよい：12 長い：6 宿泊：8

(内容・食事)

ちょうどよい：21 多い：0 少ない：6

(内容・講義)

ちょうどよい：13 わかりやすい：14
 むづかしい：1 その他：長い

(全体)

参考になった：15 おもしろかった：7
 つまらなかつた：0
 楽しめた：11 疲れた：6

【感想集】

- とても貴重な経験をさせていただきありがとうございました。また色々と機会があれば参加したいです。講演して下さった方、料理を作ってくださった方、ありがとうございました。
- シーグラスをくっつけて遊んだことが楽しかった！ とても仲良くできて楽しく活動できた。今日1日楽しく活動できた。いつもより楽しい生活ができてとてもうれしかったです。また行ってみたい！科学はもともと楽しいから2～5倍に楽しかった。1日いい経験ができた。
- この瀬戸内親子エコデイキャンプで、ばいしんじの海辺がきれいになったと思いました。お昼の松山ずしは少なかったけどおいしかったです。ところてんも、しるといっしょにたべると、ものすごくうまかったです。
- 海から流れてくるゴミのことや、海の生物のかんさつはとてもよく分かって、松山ずしのこと、ところてんのことよく分かって、エさくも楽しくできました。とくにところてんは初めておし器をおすのがいいたいけんができたと思います。メインの「エコ」のことをずっと頭にいれておきたいです。またあったらできたらさんかしたいです。
- 子どもたちと一緒にいろいろと学ぶことができました。またこのような機会があれば参加したいと思います。
- 初めてのボランティアでしたが、自分自身も楽しく1日を過ごすことができました。また今後もよろしくをお願いします。
- 書く力もありません。
- 1日を通してとても有意義なものとなった。色々なゴミが海岸にうちあげたれているのなんて知らなかった。とてもつかれた。
- いろんな海のいきものや、ところてんもうまかったです。すごくなかよくあそべました。
- 今日、瀬戸内親子エコデイキャンプにきて楽しかったし、食事もおいしかったのでよかったです。今日1日楽しく活動できたのでよかったです。エコ工作をしてガラスをつかった工作は楽しかったです。
- 今日は楽しく勉強できました。特に、いそ遊びは楽しかったです。いろいろな生き物がとれました。またこういうことがしたいです。

- この瀬戸内親子エコデイキャンプをして、海でゴミを捨てたらいけないんだなと思いました。次からはゴミは自分をもってかえるようにしたいです。工作もいそ遊びも楽しかったです。松山ずしはおいしかったけど、ところてんはあまりすきではなかったです。そうめんはすごくおいしかったです。このエコの勉強をしてすごく楽しかったです。
- 今日は、いろんな体験をして、いろんなことを学びました。海は、とても汚れていることがわかってよかったです。なので、海にまたくる時があれば、ゴミを拾いたいです。私は今日の活動の中でも、一番海のいきもの観察するのが楽しかったです。ところてんは前も1回食べたけど、やっぱり食べれませんでした。また、海のことについて考えたいなと思いました。
- 今日はとても暑かったですが、とても楽しめました。はじめて食べたところてんは、わたしの口にはあわなかったけど、とてもかんしゃしています。松山ずしはあまり具をのせませんでした、とてもおいしかったです。ごみでは海の近くには発泡スチロールがおおくありました。シーグラスはあまりとれなかったけどたのしかったです。パイプの方ではすごくありました。今日学んだことをいかして陸地のごみをへらしていきたいと思います。鳥たちをあまり病気にさせないように心がけようと思います。
- 自分たちだけではなかなか経験したり知ったりすることのできないことができました。地球環境が自分たちの生活や命と深くむすびついていることを子供も知ることができたと思います。今後、プラスチックの分別に関してはより一層気をつけて行うことができると思います。食事やおやつも手作りをいただいて、田舎のおばあちゃんの家へ帰省したような気分でした。ありがとうございました。
- 松山鮓、とてもおいしかったです。ありがとうございました。
- 虫を見つけられて楽しかったです。もっと時間が欲しいです。松山鮓やところてんはとてもおいしかったです。図工ではシーグラスの工作をしました。知らないこともよくわかりました。
- いろいろないきもの名前をおしえてくれたり、おしばのつくりかたもおしえてくれたりして参考になった。
- 私たちが捨ててしまったゴミがさかなたちにひがいをあたえているとわかってよかったです。ところ天もおいしかったです。

- りょうりできないことはざんねんです。ごみひろいのおかげとおもったけれど、そうでもなくてよかったです。さくひんするじかんがもっとほしかった。またらいねんもさんかしたいとおもいます。
- 小学生には時間的には少し長い様に思います。
- いろいろなことを知れてよかった。楽しめてできた。次も機会があったら参加したい。あと正直ところてんがあんまりおいしくなかった。けどおすしはとてもおいしかったです。私は瀬戸内海の海の特徴なんて知らなくて今日、話を聞いてみて深く感心しました。今後もこのような機会が増えたらいいと思いました。
- 今日のボランティアは楽しみながら参加できてよかったです。海にポイ捨てをすることは、海の環境が変化することがわかりました。さらにプラスチックのゴミは土にかえるのに400年もかかるということを知りました。おやつにでてきたところてんの作り方がわかってよかったです。今日のボランティアで色々な方と関わりがあってよかったです。
- エコについての関心が高まった。ゴミの危険性なども分かりやすく教えていただいて、ポイ捨ては絶対にダメだと再確認できた。子供や大人も交流を深めることができいい体験になった。ご飯がとてもおいしかったので家に帰って作ろうと思った。ところてんはちょっとなあっている感じだった。このボランティアを機に今後の生活に生かしたいです。
- 初めの講演は分かりやすく、有意義だった。ボランティア活動の方も活躍する場面、手伝う場面は少なかったが参加者と一緒に学べた。ところてんを初めて食べたがおいしかった。参加者にもとても貴重な体験だったのではないかと思う。特に子供たちは有意義であった。海岸のゴミを拾いどんなゴミが多いか調査したが、伊予農の環境開発科でも同じような事をしているので結びつきがあった。このような体験ができる機会を増やしていけば親子共に勉強になるのではないかと思った。
- 今日は初めて瀬戸内親子エコボランティアキャンプに参加してみたんですが、すごく自分のためになったし、はじめてしたことがたくさんありました。また今日初めてところてんをたべました。ところてんは思ったよりやわらかくておいしかったです。昼ごはんのちらしずしとそーめんもおいしかったです。とくにちらしずしは新鮮な海のものをつかっていてタコもエビもアナゴもすごくおいしかったです。また機会があれば参加したいです。

事業について

この事業は、衣サイクル研究会が、公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』の助成を受けて実施したものです。

公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』について

制度創設の目的

現在は、地球温暖化をはじめとする様々な環境破壊が進んでおりますが、これは愛媛県に住む私たちにとりましても、憂慮すべき、身近で重大な問題であると考えております。愛媛県の美しい自然を次代に受け継ぐために、多くの方々のご尽力されていますが、活動の継続には多くの協力が必要とされております。

私ども伊予銀行は、創業 130 周年の節目を迎えるにあたり、私どもを支え続けていただいた地域社会に貢献するため、愛媛の自然環境保護活動をお手伝いする制度を創設いたしました。

制度の概要

伊予銀行が 1 億円の資金を拠出し、愛媛県の自然環境保護活動を支援する公益信託を設定するとともに、役員によるボランティア活動を積極的に展開してまいります。

項目	内容
名称	公益信託 伊予銀行環境基金『エバーグリーン』
信託財産	1 億円 (伊予銀行が資金拠出します)
助成内容	主に愛媛県内で自然環境保護活動に取り組まれている 公益法人、特定非営利活動法人、学校、任意団体、個人 を対象に、年間合計 500 万円を目処に活動資金を助成します。
助成時期	詳細につきましては伊予銀行へお問い合わせください。
主務官庁	愛媛県
受託者	住友信託銀行 株式会社 取締役社長 常陰 均
実績	これまでに 29 先 1,000 万円の助成を行っております。

なお、自然環境保護を目的とする公益信託の設定は、愛媛県で初めてとなりました。



衣サイクルホームページ



衣サイクル研究会ブログ

衣サイクル研究会

〒791-8086 松山市辰巳町 1 番 8 号

サーパス三津巻番館 205 号

TEL 090-9557-7594、FAX 089-952-5827

E-メール e-cycle@kfx.biglobe.ne.jp

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~e-cycle/>